

令和2年度 学校評価結果報告書

桶川市立桶川東中学校
校長 矢澤 等

1. 目指す学校像

「信頼される学校 活力のある学校 安心安全な学校」

～生徒の愛校心を高め、地域と協働する学校づくりを目指す～

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標の達成に向けて組織的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標のもと、学力向上、不登校解消の諸課題解決に向けて取り組んでいる。 適切な仕事分担によって組織の機能性を生かし、協働意識を今まで以上に高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 50周年式典実施。今後も、協働意識をさらに向上させてほしい。 学校長のリーダーシップの下各学年が意識をもって取り組んでいる。 先生方が共通の目標をもち、意欲的に取り組んでいるので応援する。
	2	PDCAサイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学年主任、生徒指導、教育相談担当を中心に情報共有が適切に行われ、管理職への指示のもと生徒対応をしている。 申し送りを徹底することで、さらに円滑な教育課程を実施する。 	
学習指導	3	教育指導計画に基づき、授業改善に努め、基礎学力をつけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジテストの効果が出ている。生徒の取組に成果が見られる。問題のデータ化や、やり方を再考して次年度につなげる。 教材研究は更に深めて、生徒の学力や教育活動を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた環境での授業が行われている。着実に学力向上につながっている。教員の努力の成果でもあり生徒に自信を持たせてほしい。 組織として課題の共有をして、学習指導にも緊張感を持って取り組んでいる。 良い習慣は継続してほしい。休校中に、ユーチューブから学習を配信したことは評価できる。
	4	生徒が自主的・実践的な活動ができるように諸活動を通して指導している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導、教育相談委員会の情報はファイルを使用することで共有がなされている。 今後も生徒理解をして生徒との関係を維持する。また、諸問題については適切に分担することで組織として対応する。 	
	5	授業規律を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員の教科指導力が生徒の授業を受ける姿勢につながっている。 各教科の授業評価には波がある。学年ごとに差がでないように、授業規律を確立する。 	
生徒指導・教育相談	6	いじめをすることなく、生徒相互に尊重し合う学校生活を送れるような環境を作っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な生徒指導による対応がなされている。 道徳を輪番制にすることで、授業の完成度が上がり、生徒は複数の教員の指導を受けることができる。 生徒の自治意識を涵養するために学級活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 来校時には挨拶をしてくれるので評価してもよい。SNSによる弊害が後を絶たない。人間関係づくりを指導してほしい。 生徒の規範意識が浸透し望ましい体制づくりが実現されている。 個別の支援体制も保護者連携のもとで整っている。 道徳を複数の教員により授業することで偏らない指導をしている。 校舎は古いが、清掃が行き届いていて気持ちが良い。 挨拶ができるように、学校と家庭とで教えていく。 生徒の規範意識が浸透している。 個別の支援体制が保護者との連携の下で整っている。 信頼される学校である。 挨拶は、時と場所に関係なく励行できるとよい。
	7	友達や教職員・来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行については、取組もあり改善されている。指導は継続して進める。 部活動の生徒が自ら発信する挨拶への取組を考えてはどうか。 	
	8	生徒が身の周りの整理整頓や清掃活動に努めるよう指導し、効果を上げている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 継続して清掃指導や整理整頓への指導がなされている。 生徒に環境への意識を持たせ、自ら過ごしやすい環境を作ることができるような指導も進める。 	

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価
			評価	説明及び学校の考え	
健康教育	9	生徒の体力向上に向け、体育や部活動などに積極的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 顧問の指導もあり、生徒は部活動に積極的に取り組んでいる。生徒にとっても充実した活動がなされている。 部活動指導を担当する教員のために、負担軽減をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活では、コロナ禍でありながら、県大会出場や入賞と成績を残し、教員の努力がみられる。 部活動の制限がありますが、体力低下を防げるようにご指導ください。 働きかた改革と教育指導の調整を上手にしてほしい。
	10-1	栄養バランスのとれた食事と生活リズムの大切さを積極的に理解させている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 食育への意識啓発が掲示物により進んでいる。 生活習慣を維持できるような指導法について職員で決められるように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育により、食習慣の向上を図ってほしい。 学校として自慢できる食育である。 全員でマスクを作成するのはよかった。
	10-2	コロナ禍での対応・課題	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体で、除菌作業に取り組んでいる。マスク着用等、コロナ禍における新しい生活様式に則ることができない生徒には継続して指導している。 換気と室温の維持が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を継続してほしい。生徒の健康・安心を最優先にした防止策がとられている。 教員向けのタブレット使用について研修があるのはよい。
学習環境	11	落ち着いた学習環境づくりを組織的に進めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内掲示が充実している。 生活習慣が乱れがちな生徒への指導については、学校としての指導法を共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい作品が展示してあり、個性の豊かさを感じる。 環境美化への指導を期待する。
	12	教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 端末、モニター等、ICTによる学習環境が整備されている。研修を深め、効果的な活用を進めていく。 古い備品は修理するなど、物を大切に扱う文化を創っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内清掃が行き届いている。 各階の廊下等には整った掲示がされており、望ましい学習環境に日ごろから尽力されている様子がうかがえた。
教職員の資質向上	13	教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても学校課題研究の研修を進めることができた。 多様性を重視する世の中において、学校の役割もさらに多様化している。生徒理解を進めることで、個々の生徒が豊かな学校生活を送ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でもあり、学校課題研究を推進することは、困難であったと思うがその姿勢は教育活動と生徒の資質向上につながる。 中学校の先生と、高校の先生が授業を見合う機会を設定できるとよい。 校内ですれ違う先生方が明るく挨拶してくれる。
	14	教職員の服務規律の確保に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 研修等では、教職員の道徳性を高め、倫理観を醸成している。 教育業務を進める中で、経験ある教員や中堅、そして若手が、それぞれの立場からの意思疎通を深め、教員として成長できるような文化を創っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるまいや話の仕方等、生徒の模範となしてほしい。 教育を、保護者との共有によって進めてほしい。
家庭・地域との連携	15	学校だよりや学年・学級通信・ホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題について情報提供している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学年通信やHPでの情報公開、進路等は生徒や保護者の会話にあがるようになった。 ホームページの更新については、職員が分担して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校便りはいつもみていて、校内の情報がわかってよい。(学区内の自治会で閲覧できるとよい。) 学校応援団だけでなく、PTA、生徒、教員が加わり、学校美化への活動ができた。
	16	PTA活動や地域活動を重視し、保護者、地域と連携・協力している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団の参加者が増加し、生徒と一緒に活動することで活気がでた。 学校行事、PTA行事等様々な行事を通じてコミュニケーションがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで以上に学校と保護者、地域との良好な関係を維持させることが大切。 配布物、メール、学校HP等を通して、学校の見える化が適切に推進されている。 情報公開により教職員と保護者との連携が深まる。

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。